

# 資料集

第2次田原市観光基本計画 アクションプラン  
前期（令和2～4年度）評価

# 1. 市民が主体となる観光振興

## 成果指標

▶市民意識調査「観光の振興」の重要度 48.2%（令和元年度）を55%以上（令和4年度）にする。  
市民が主体となって観光を推進するようになれば、市民意識の「観光振興の重要度」が高くなります。

成果指標	令和元年度	令和4年度		評価	→	令和7年度
	実績	目標	実績			目標
市民意識調査「観光の振興」の重要度	48.2%	55.0%	52.4%	△		

### (1) 市民の観光客受入れ機運の醸成

誰でも参画可能な観光分野の講座の開催

具体的なアクション	実施状況	状況
▶観光まちづくり実践塾を開催 ▶出前観光教室（小・中学生等向け）を開催	・観光まちづくり実践塾は令和2年度コロナの影響で中止。令和3年度は「温泉活用」、令和4年度は「地域連携」をテーマに開催。 ・高松小、伊良湖岬小、田原中、福江高校などへ観光講座を開催した。	○

### (2) 学校教育への対応強化（田原市の観光事業への意識向上）

市内の保育園や小学校等において田原市の魅力を伝える体験プログラムの実施

具体的なアクション	実施状況	状況
▶たはら巡り～な等を活用し、市内の保育園児・小学生等向けに田原市の魅力を伝える体験プログラムを実施	たはら巡り～なの参加事業者が中心となり、定期的に体験教室等を実施した。	○

### (3) 市民参加による観光活動（市民参加促進）

#### 1. 市民提案企画の活用・協働

具体的なアクション	実施状況	状況
▶田原市観光事業者等提案事業を募集、補助 ▶市民、事業者、団体、行政の協働による観光企画の実施	・田原市観光事業者等提案事業補助金交付件数、令和2年度4件、3年度4件、4年度6件。 ・「温泉活用」をテーマに伊良湖温泉ビジネスプランコンテストを実施した。	○

#### 2. 市民観光ボランティア募集・育成

具体的なアクション	実施状況	状況
▶観光ボランティアガイド育成講座を実施	愛知県観光フォーラムによるガイド育成講座に参加。	○

#### 3. 「たはら巡り～な」の体験プログラム主催者の募集・育成

具体的なアクション	実施状況	状況
▶たはら巡り～なの体験プログラム主催者を募集・実施し、研修会を開催	説明会及びワークショップを通じ、新規事業者を募集、既存プログラムの磨き上げを実施した。	○

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった

アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手

#### (4) 市民による観光交流の実現（観光交流促進）

##### 1. 観光関連のセミナーや「たはら巡り～な」等で集まったメンバーでワーキングを実施

具体的なアクション	実施状況	状況
▶観光関連の市民や事業者を集め、ワーキング・交流会を開催	・観光まちづくり実践塾やたはら巡り～な主催者決起集会等により、事業者間の交流を図った。 ・伊良湖菜の花ガーデン、伊良湖温泉活用について観光事業者等とワーキングを開催した。	○

##### 2. 渥美半島観光ビューローと協働で関係事業者・団体等の観光交流会の開催

具体的なアクション	実施状況	状況
▶観光関連事業者や団体を集めた観光交流会を開催	・渥美半島観光ビューローを中心に各事業推進部会において、イベント等の企画運営を実施し、観光交流による協働推進を図った。 ・たはら巡り～な交流会や、観光まちづくり実践塾による観光事業者の交流の場を創出した。	○

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった  
アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手

## 2. 観光資源を開発・磨き、つなぐ

### 成果指標

▶地域内の旅行業者により、温泉、サイクリング、サーフィン等の体験プログラム旅行商品が3年で6つ以上造成・販売される。

成果指標	実績値	評価	目標	
	令和2年度～4年度		令和5年度～令和7年度	
旅行商品造成数	8	○	10	



### 1 観光資源を開発する

(1) 温泉資源の開発、活用 \*温泉：伊良湖温泉 令和4年4月利用開始。

温泉資源の活用促進

具体的なアクション	実施状況	状況
▶「伊良湖温泉（仮称）」活用のための検討・研究会を継続して開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊良湖温泉の利用促進のため、事業者説明会を開催した。</li> <li>（一社）渥美半島観光ビューローを中心に温泉部会を発足し、温泉活用の検討を継続実施する。</li> </ul>	○

(2) 市内のサイクルルートを活用した新たな自転車活用の仕組みづくり

1. 自転車を活用した市内観光資源間の回遊性向上のための仕組みづくり

具体的なアクション	実施状況	状況
▶自転車の観光活用のための検討・研修会を継続して開催	自転車の観光活用のため、サイクルガイド育成講座等に参加した。	△

2. ナショナルサイクルルート制度の活用

具体的なアクション	実施状況	状況
▶渥美半島どんぶり街道との連携によるサイクリングイベントの開催や国内外へのPRを実施 ▶市内のサイクルルートとの連携強化を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>アウトドアイベントに出展し、サイクルツーリズムのPRを図った。</li> <li>国や県と連携し太平洋岸自転車道マップ作成、HP公開に携わりPRを実施した。</li> <li>市のサイクリングマップに太平洋岸自転車道を掲載し、市内のサイクルルートとの連携を図った。</li> </ul>	○

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった

アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手

### (3) 街なか観光の推進

田原市街地、福江市街地の地域資源・景観を生かしたまち歩き型観光の推進

具体的なアクション	実施状況	状況
▶歴史・文化等を活用したまち歩き型観光の研究会を実施しイベントを開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>田原市街地では、令和2年度から竹あかりを使ったまちなか歴史ウォーキングトレイル周遊イベントのほか、JRさわやかウォーキングを開催。</li> <li>福江市街地では、「福江つるし飾りロード」の開催を支援し、渥美郷土資料館での雑展示、市民館等への雑展示を行った。</li> <li>街づくり推進課と公共交通、田原城（御城印）を活用した周遊イベントを令和3年度、4年度に開催。</li> </ul>	○

### (4) 新たな体験プログラムの開発

これまで観光資源として活用されていなかった市内の資源を体験プログラムとして活用

具体的なアクション	実施状況	状況
▶これまでに観光利用されていない新しい素材を活用し、たはら巡り~なのプログラムとして実施	サイクリングツアーやヨガ体験、伊良湖温泉を活用したプログラムなどを実施した。	○

## 2 観光資源を磨く

### (1) 伊良湖岬周辺観光整備（ソフト事業）

伊良湖岬灯台周辺から船を眺める魅力の活用

具体的なアクション	実施状況	状況
▶大型運搬船等や漁業等を解説するガイドを育成	令和4年度たはら巡り~なにおいて、漁師による漁船クルーズツアー企画を立案した。（未実施）	△

### (2) 地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進

田原市ならではのスポーツを活用した観光の振興

具体的なアクション	実施状況	状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶スポーツツーリズムの受入環境を整備</li> <li>▶イベントを継続開催、新規誘致</li> <li>▶スポーツ合宿・トップアスリートを誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊良湖トライアスロン、オフロードトライアスロン、中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会、渥美半島駅伝競走大会を開催。イベントを継続開催することで、本市のスポーツツーリズム推進に貢献。</li> <li>令和4年度に日本体育大学バレー部が合宿を開催。市内のバレーボール団体と交流も行った。</li> <li>令和5年度よりアイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島大会を新規誘致。</li> <li>中学生野球教室（トヨタ自動車硬式野球部）、中学生バレーボール教室（トヨタ車体バレーボール部）、中学生バスケットボール教室（三遠ネオフェニックス）を開催し、トップアスリートが本市を訪れる機会を創出した。</li> </ul>	○

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった

アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手

### (3) お土産の強化

渥美半島たはらブランド認定品制度等を活用した田原市ならではの土産物の開発・販売強化

具体的なアクション	実施状況	状況
▶新しいお土産品の開発を支援	渥美半島たはらブランド認定品を増加させるとともに、より高い付加価値を持った渥美半島たはらブランドプレミアムの認定制度を開始した。	○

## 3 観光資源をつなぐ

### (1) サーフィン×観光の推進

サーフィンの観光活用の推進

具体的なアクション	実施状況	状況
▶サーフィンの体験プログラムを増加させ、たはら巡り～などで実施 ▶サーファーが市内を周遊し観光する仕組み作りを研究	・たはら巡り～などでサーフィン体験を実施した。 ・市内で行われる大会等を後援することで大会の付加価値を高め、サーファーが本市を訪れる機会の創出に貢献した。 後援実績 令和2年度 1件、3年度 2件、4年度 4件 ・夏イベントパンフレットにてSUP、サーフィン体験教室を告知し、体験教室を開催した。	○

### (2) 産業×観光の推進

自動車産業等、工業の観光活用（工場見学等）

具体的なアクション	実施状況	状況
▶工業に関連する体験プログラムをたはら巡り～などで実施	・新型コロナウイルス感染症に伴い、一般工場見学が休止されており、再開時期も未定となっている。 ・工場見学の再開をもって、改めてたはら巡り～なのプログラムに組み込めるよう事業者と調整する。	△

### (3) 農業×観光の推進

花、野菜、果物等の豊富で高品質な農産物を生かした農業体験の増加

具体的なアクション	実施状況	状況
▶農業に関する体験プログラムを増加させ、たはら巡り～などで実施	・農業体験、収穫体験等、たはら巡り～などで実施した。 ・サンテパークたはらにて豊橋田原広域農業推進会議主催の収穫体験&料理教室を実施した。 ・花と温泉モニターバスツアーを実施した。 ・産地直売所交流機能高度化推進事業として、巡り～な主催者を中心に農泊体験を実施した。	○

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった

アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手

#### (4) 食×観光の推進

「食」の渥美半島プロジェクト どんぶり街道、貝づくし渥美等の実施

具体的なアクション	実施状況	状況
▶サイクリングイベント、温泉活用イベント等との連携によるPRを実施 ▶PRイベント等を開催	・農業祭、市民祭り等のイベントにて、ベジエール渥美による食育に関するPRを実施した。 ・菜の花ガーデンを訪れる観光客に向けて、どんぶり街道をPRした。 ・田原観光情報サービスセンターがSAVOR JAPANに認定された。	○

#### (5) 「観光体験博覧会 たはら巡り～な」の推進

「たはら巡り～な」の推進

具体的なアクション	実施状況	状況
▶たはら巡り～なを継続し、民間主体による開催を推進 ▶通年開催、当日参加可能なプログラムを実施	7月下旬から開催し、夏休み需要の獲得を図るとともに、新規プログラム数も募集し、当日参加可能なプログラムも実施した。現状市主体のため、民間主体での実施を推進する。	△

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった  
アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手

### 3. 訪日外国人旅行への取組強化

#### 成果指標

▶市内外国人宿泊者数 5,077 人（平成30年度）を 10,000 人（令和3年度）にする。

成果指標	実績値	評価	目標
	令和3年度		令和7年度
市内外国人宿泊者数	—	×	5,000 人

※新型コロナウイルス感染症による入国制限の影響により参考数値なし

#### (1) 訪日外国人受入環境の整備

市内各道の駅等での外国人観光案内所としての機能強化

具体的なアクション	実施状況	状況
▶道の駅関係者による外国人対応研究会を開催	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発出され、入国制限による動向が不明瞭だったため未開催。今後 2026 年のアジア競技大会の開催に合わせて、インバウンド誘致の研究会を実施する。	×

#### (2) 訪日外国人向け情報発信の強化

多言語版の観光パンフレットを作成

具体的なアクション	実施状況	状況
▶訪日外国人向け観光パンフレットを作成	たはら旅手帖外国語版（英語・中国語・韓国語）を改訂し、作成した。	○

#### (3) 在住外国人を対象とした体験機会の増加

実習生や留学生等の在住外国人の観光体験による情報発信を推進

具体的なアクション	実施状況	状況
▶実習生・留学生等を対象としたモニターツアーを実施 ▶たはら巡り～などで在住外国人が参加しやすい体験プログラムを実施	田原観光情報サービスセンターと連携し、観光庁の補助金を活用して訪日留学生を対象とした、たはら巡り～などを体験するモニターツアーを実施した。	○

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった

アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手



## 4. 観光基盤の整備

### 成果指標

▶インターネットによる田原市再来訪意向 70.4%（令和元年度）を 80%（令和4年度）にする

成果指標	実績値	評価	目標
	令和4年度		令和7年度
再来訪意向	—	×	80%

※新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に旅行者数が激減したため調査未実施。

### (1) サイクリング、ウォーキングのための環境整備

ナショナルサイクルルート制度に適した受入環境の整備

具体的なアクション	実施状況	状況
▶道の駅等へ自転車修理キット・ロッカーを設置、着替えスペース確保を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渥美半島サイクルサポーター制度を導入し、サイクルラック、空気入れ、修理キット、おもてなし特典など、受入環境の整備を図った。</li> <li>・ゲートウェイ機能の強化を図るために、伊勢湾フェリー株式会社と連携し、サイクルステーションを設置した。</li> </ul>	○

### (2) 交通利便性の向上

レンタサイクルの充実

具体的なアクション	実施状況	状況
▶レンタサイクルを活用した周遊マップを作成	レンタサイクルを活用したサイクルスタンプラリーを実施し、レンタサイクルの利用促進を図った。	○

### (3) 観光拠点の整備

1. 渥美半島菜の花浪漫街道にある重点道の駅等の観光拠点としての機能の強化

具体的なアクション	実施状況	状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶サイクリスト受入環境を整備</li> <li>▶たはら巡り～な等の体験型観光の情報発信を実施</li> <li>▶JNTO登録等によるインバウンド対応の実施</li> <li>▶日本風景街道大学菜の花田原キャンパス開催により、道の駅と日本風景街道の連携を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリスト受入環境整備の一環として、コインロッカーや案内看板を設置した。</li> <li>・道の駅内観光案内所にて観光情報発信を実施した。</li> <li>・日本風景街道大学菜の花田原キャンパスは、新型コロナウイルス感染症影響により令和5年度開催に延期。令和4年度は、日本風景街道と道の駅の交流事業で、道の駅田原めっくんハウスにて「シーニックマルシェ」を開催し、渥美半島菜の花浪漫街道のPRを実施した。</li> </ul>	○

2. 芦ヶ池農業公園サンテパルクたはらの観光拠点としての機能の強化

具体的なアクション	実施状況	状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶体験教室・収穫体験を充実</li> <li>▶近隣施設との交流連携を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症対策を行いながら体験教室を実施し、収穫体験については新しい作物の導入など、通年収穫できるよう充実させたほか、平日も楽しんでもらえるようセルフ工作を充実させた。</li> <li>・赤塚山公園に加え、新たに伊勢湾フェリーや吉胡貝塚史跡公園などの近隣施設と交流連携も実施した。</li> </ul>	○

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった

アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手

## 5. 観光推進体制の整理・強化

### 成果指標

▶渥美半島観光ビューローと市を中心に、観光事業者・団体等が参画する協働推進体制確立のための研究会を3年間継続して開催する

成果指標	実績値	評価	目標
	令和2年度～4年度		令和5年度～7年度
研究会実施	開催	○	継続開催



### (1) 官民一体となった協働推進体制の検証・確立

官民一体となった協働推進体制の検証・確立

具体的なアクション	実施状況	状況
▶渥美半島観光ビューローと市を中心に、観光事業者・団体等が参画する研究会を開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渥美半島観光ビューローを中心に各事業推進部会において、イベント等の企画運営を実施し、観光交流による協働推進を図った。</li> <li>・たはら巡り～なの交流会や、観光まちづくり実践塾による観光事業者の交流の場を創出した。</li> </ul>	○

### (2) 行政と渥美半島観光ビューローの役割の明確化

#### 1. 行政と渥美半島観光ビューローの役割の明確化

具体的なアクション	実施状況	状況
▶渥美半島観光ビューローと市で役割分担について協議を実施	市から渥美半島観光ビューローへ、観光推進事業の一部を委託することで、両者の役割分担を図った。	○

#### 2. 基盤強化のための渥美半島観光ビューローの法人化、DMO化等の検討

具体的なアクション	実施状況	状況
▶渥美半島観光ビューローの法人化、DMO化の研究・検討会を開催	本市の観光産業の活性化を図り、地域経済の発展を目的に、令和3年11月に渥美半島観光ビューローの一般社団法人化を図った。	○

### (3) 観光事業者間の情報共有機会の創出

観光事業者間の情報共有機会の創出

具体的なアクション	実施状況	状況
▶たはら巡り～な交流会等、既存の会の有効活用を含め、観光事業者間の情報共有機会を創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渥美半島観光ビューローを中心に各事業推進部会において、イベント等の企画運営を実施し、観光交流による協働推進を図った。</li> <li>・たはら巡り～なの交流会や、観光まちづくり実践塾による観光事業者の交流の場を創出した。</li> </ul>	○

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった

アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手

## 6. マーケティング体制の強化

### 成果指標

▶インターネットによる田原市非来訪者の田原市観光資源認知度 17.73%（令和元年度）を 30%（令和4年度）にする。※市内20か所の認知度平均値

成果指標	実績値	評価	目標
	令和4年度		令和7年度
田原市非来訪者の市観光資源認知度	—	×	30%

※新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に旅行者数が激減したため調査未実施。

### 情報発信・PRの強化

#### 1. SNS等最新の情報収集・発信ツールの積極的な活用

具体的なアクション	実施状況	状況
▶既存のキャベゾウSNS（Instagram, Twitter, Facebook）等を始め、最新ツールを積極的に活用し情報を発信	キャベゾウSNSや観光ビューローSNSで市内のイベント情報、観光情報を発信した。	○

#### 2. 各種メディアへの広報活動の強化

具体的なアクション	実施状況	状況
▶SNSを含む、テレビ・ラジオ・新聞などメディアごとの特色を生かした広報活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田原市ふるさと大使及び田原市PRサポーター、たはら暮らし定住・移住サポーター等が各種メディアで本市の魅力を発信している。</li> <li>・たはら暮らし定住・移住サポーターの公式インスタグラムアカウントを令和4年度に開設した。</li> <li>・メディア、新聞、雑誌等でたはら巡り～なや季節ごとの観光情報発信を実施した。</li> </ul>	○

#### 3. サーフィン、自転車、温泉、食、体験等テーマ別の情報発信の強化

具体的なアクション	実施状況	状況
▶渥美半島観光ビューローHPにおいて、テーマごとに情報を掲載	各カテゴリでテーマ分けした情報発信は行っていないが、市内観光情報やイベント情報等をHPにおいて随時発信した。	△

#### 4. 旅行業者への情報発信・営業活動の強化

具体的なアクション	実施状況	状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶広域組織との連携による営業活動を継続実施</li> <li>▶渥美半島観光ビューロー及び会員と行政の連携による営業活動を強化</li> </ul>	県や東三河地域等、広域連携した観光展や商談会に参加し、情報発信及び営業活動を行った。	○

成果指標【評価】： ○：達成できた △：やや達成できた ×：達成できなかった

アクション【状況】： ○：実施済み △：一部未着手 ×：未着手